

科目名	音楽表現演習Ⅲ		担当教員	明石 現・大澤ちづる・木村記子 曾我桂子・井出香里・福中琴子		
			担当形態	クラス分け		
テキスト	「幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育」教育芸術社 「かんたんメソッド コードで弾きうたい」カワイ出版	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標 ピアノやギターによる伴奏を弾きながら「こどものうた」を豊かに表現し、保育で応用する技術が身につく。保育における音楽の役割や日本のこどものうたの歴史、乳幼児と楽器とのかかわりについて理解し、説明できる。</p> <p>■授業の概要 保育の内容を理解し、展開するために必要な保育の表現技術の一つである歌唱およびピアノやギターを用いた弾き歌いの力量を高め、豊富なレパートリーをもとに応用できることを目的として、少人数によるグループ授業を行う。また、保育における音楽の役割、打楽器の奏法などについて実技を交えて解説する。歌唱や弾き歌いの技術習得、授業内およびコンサートでの実技発表、音楽理論の筆記試験、弾き歌いの実技試験を実施する。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション 保育における音楽の役割 第2回 季節の歌 第3回 行事の歌 第4回 生活の歌 第5回 乳幼児と楽器ー打楽器の特徴と奏法 第6回 マーチ 第7回 イメージサウンド 第8回 合奏 第9回 音楽理論の筆記試験および解説 第10回 日本のこどものうたの歴史 第11回 学生と教職員によるコンサートの参加と鑑賞 第12回 幼児の音楽教育に影響を与えた人たち 第13回 発表会の準備① 演奏と役割分担 第14回 発表会の準備② リハーサル 第15回 発表会の実施とまとめ</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業前に、必ず実技の課題に関する自己練習をしておくこと。 ・終了した課題曲に関しても日常的に復習をして、レパートリーの蓄積をすること。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題曲の達成度・弾き歌いの実技試験 — 50% ・授業内発表 — 30% ・音楽理論の筆記試験 — 10% ・授業記録簿の記述 — 10% 						
参考文献	「こどものうた100」チャイルド社 「続こどものうた200」チャイルド社 「保育者・教師をめざす人、集まれ！みんなピアノだい好き！」全音楽譜出版社	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・単位修得には10曲以上の課題曲達成が必要となる。継続的に自己練習を行うこと。 ・免許・資格の取得を希望する場合、必ず履修すること。 <p>【課題等のフィードバック方法】 発表に対しては、適宜コメントをする。</p>			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状選択必修 保育士資格選択	幼	教科に関する科目			
		保	保育の表現技術			